

●大会テーマ

鳥居家三君に見る
人づくりの精神



第18回 全国藩校サミット 壬生大会



会期：令和3年11月20日土・21日日

場所：第2部会場 城址公園ホール(壬生中央公民館)

栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33

【主旨】

第18回全国藩校サミット壬生大会のテーマは「鳥居家三君に見る人づくりの精神」です。三君とは初代・鳥居元忠、6代・忠英、11代・忠挙を指し、今大会では、壬生藩政に大きく貢献した、この三人に光をあてます。

このサミットは、「江戸時代に藩校で行われていた教育・精神を再認識して現代に生かそう」という趣旨のもと、藩校間の文化交流と漢字文化の継承を願い、漢字文化振興協会が中心となって、全国各地で開催されてきました。旧大名家(藩主)のご子孫やその関係者が一堂に会しての一大イベントです。

【三君の功績】

初代鳥居元忠：徳川家康と竹馬の友、家康の天下取りの礎となる
6代鳥居忠英：学問所(のちの壬生藩校「学習館」)を設置する
11代鳥居忠挙：藩校「学習館」を拡充し、多くの人材を育成する

20日[土]

第1部

- 藩主会議(幕末各藩の藩主子孫による会議)
- 藩校会議(各地における藩校継承団体による会議)

第2部 (入場無料)

- 式典
- 記念講演
- 記念鼎談
- こども文化活動発表など

21日[日]

エクスカージョン

- 半日コース
①壬生ブランド巡り(観光ガイドツアー)コース
- 一日コース
②日本教育遺産(足利学校)&世界文化遺産(日光東照宮)
③世界文化遺産(日光東照宮)&日本教育遺産(足利学校)

※コロナ禍において入場制限があります。また内容を変更する場合があります。

下野国壬生藩 学習館

栃木県壬生町

創立年代 正徳3年（1713）

創立時の藩主 鳥居忠英（とりいただてる）

校訓 鳥居元忠以来「文武共精出 成徳達材」

【概要】藩主 鳥居忠英と大学者 伊藤仁斎のつながりのなか、壬生藩に入封した翌年の正徳3年（1713）に創設。〈学問所〉では兵書を講義をさせ、また成績優秀な藩士を伊藤東涯の古義堂に入門させ漢籍を研究させた。学風は古義学（仁斎学）が重んじられたが、藩主忠挙の弘化3年（1846）に学問所を藩校〈学習館〉と拡充し、公式の経義に朱子学を併用した。また、江戸藩邸に〈自成堂〉を開学し、儒者の太田熊山（泰蔵）を学頭に任じた。なお、熊山は藩校から『師善録』『永嘉先生八面鋒』の二種の教科書を出版している。

維新後、学習館は〈文武館〉と名を変え拡張したが、明治4年（1871）閉鎖され、現在の壬生小学校がその名残の一部を伝えている。

全国藩校サミット開催地

第1回	平成14年	東京都文京区	江戸幕府「昌平坂学問所」
第2回	平成15年	福島県会津若松市	会津藩「日新館」
第3回	平成16年	佐賀県多久市	佐賀藩多久邑「東原屏舎」
第4回	平成17年	岡山県高梁市	備前松山藩「有終館」
第5回	平成18年	長野県伊那市	高遠藩「進徳館」
第6回	平成19年	山形県鶴岡市	庄内藩「致道館」
第7回	平成20年	熊本県熊本市	熊本藩「時習館」
第8回	平成21年	新潟県長岡市	長岡藩「崇徳館」
第9回	平成22年	島根県松江市	松江藩「文明館」
第10回	平成24年	茨城県水戸市	水戸藩「弘道館」
第11回	平成25年	鹿児島県鹿児島市	薩摩藩「造士館」
第12回	平成26年	埼玉県行田市	忍藩「進脩館」
第13回	平成27年	福岡県福岡市	福岡藩「修猷館」
第14回	平成28年	香川県丸亀市	丸亀藩「明倫館」
第15回	平成29年	石川県金沢市	加賀藩「明倫堂」
第16回	平成30年	京都府舞鶴市	田辺藩「明倫館」
第17回	令和1年	山口県萩市	長州藩「明倫館」
第18回	令和3年	栃木県壬生町	壬生藩「学習館」

エクスカーション 11月21日[日]

参加料：有料

e x c u r s i o n



日光東照宮 「写真提供：日光市」

Nikko



足利学校 「写真提供：足利市」

Ashikaga

半日コース

①壬生ブランド巡り（観光ガイドツアー）コース

一日コース

②日本教育遺産（足利学校）& 世界文化遺産（日光東照宮）
③世界文化遺産（日光東照宮）& 日本教育遺産（足利学校）

■お問合せ 第18回全国藩校サミット壬生大会実行委員会事務局
（壬生町立歴史民俗資料館内）

〒321-0225 栃木県壬生町本丸1-8-33 電話 0282(82)8544
E-mail rekimin@town.mibu.tochigi.jp